

令和5年度(2023年度)高校講座実施報告
(1月分)

令和6年2月19日

●神奈川県 横浜市立桜丘高等学校(令和6年1月26日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 小林久美子 主査

開催形式: 対面



●宮城県 私立聖和学園高等学校(令和6年1月24日)

講演テーマ: 外務省の仕事～国際社会における日本代表

講師: 大臣官房 国際報道官室 岩渕系 課長補佐

開催形式: 対面



●宮城県 県立石巻高等学校(令和6年1月23日)

講演テーマ: 外務省の仕事～国際社会における日本代表

講師: 大臣官房 国際報道官室 岩渕系 課長補佐

開催形式: オンライン



●千葉県 私立東京学館浦安高等学校(令和6年1月22日)

講演テーマ: 外務省の仕事と異文化理解

講師: 在外公館課 在外勤務支援室 山崎太 課長補佐

開催形式: 対面



参加者からの感想(抜粋)

- 自分の知らないところで外務省が我々の生活や環境に深く関わる仕事を行っているを知り、思っていたよりも身近な存在であると感じた。
- 私たちの平和や安全など、日常の「当たり前」を保つには外務省の仕事が不可欠であると思った。
- 外務省の仕事は政策の企画・立案が主な仕事だと思っていたが、海外での日本企業のビジネスをバックアップしたり、日本に対する関心・理解促進のためにイベントを開催したりと、多岐にわたる分野で仕事を行っていることに驚いた。
- 外務省の業務内容を知ることによって外交官という職業にも興味がわき、将来の選択の幅や、進路を考える上での視野が広がった。
- 他国の文化や情勢について詳しく学ぶことができた。今回興味を持ったことをきっかけに、今後自分でも調べてみようと思った。
- 同じ外務省でも、国内と国外で行っている仕事に違いがあることに驚いた。
- 今まで「外務省」と聞いても具体的なイメージが想像できなかったが、実際の業務内容や在外公館での様子を聞き、とてもやりがいのある仕事だと思った。